1945年08月03日　（金曜日）　中部日本新聞　朝刊　1ページ

（日刊）　（昭和十七年九月一日第三種郵便物認可）　昭和二十年八月三日　中部日本新聞　（金曜日）　第一千六十二号

中部日本新聞　読賣報知　毎日新聞　朝日新聞
中部日本新聞社　発行所　名古屋市中区三ノ一九一三
伊藤正徳　人行兼発行人

# 勤労者の信賞必罰強化
## 表彰こそ懲戒を徹底
### 生産責任者に権限付與

政府はさきに國民勤労報國協力令を改正して一般の勤労者が生産戰力増強の各面に総動員されるところから勤労者の士気を昂揚するとともにこれと並行して戰時下生産確保の観点から勤労者の戰時勤労統率の刷新強化に關する勅令案要綱を決定、これを閣議決定を経て一日枢密院に諮詢、即日審査を了し、同日勅令第四百二十九號として公布された。

一、戰時勤労者の表彰及懲戒に關する勅令案要綱

一、軍需會社法に依る懲戒手續の特例に關する勅令案要綱

一、戰時勤労統率の刷新強化に關する勅令案要綱

一、戰時勤労者の表彰及懲戒に關する勅令案要綱

政府は今回決定した戰時勤労統率の刷新強化に關する勅令案要綱に基き、勤労者の士気を昂揚するとともに、生産責任者に權限を付與して生産戰力の飛躍的増強を期することとなり、左の二十五項目に亘る勅令案要綱を決定、これを閣議決定を経て一日枢密院に諮詢、即日審査を了し、同日勅令第四百二十九號として公布された。

一、戰時勤労者の表彰及懲戒に關する勅令案要綱

第一　國民勤労報國協力令（以下單に勤労者と略す）は命令の定むるところにより左の者を表彰することを得

一、功績顯著なる者

二、精勤の者

三、模範となるべき行爲ありたる者

四、その他勤労統率上特に表彰を適當と認むる者

第二　表彰は左の四種とす

一、賞狀の授與

二、賞金の授與

三、賞品の授與

四、賞詞

第三　勤労者の表彰は生産の本務たると否とを問わず之を行うものとする

第四　勤労者の表彰は生産の本務に關係あるものに對しては主として生産の本務に關し、本務以外の事項に關しては主として本務以外の事項に關し之を行うものとする

第五　勤労者の懲戒は左の各號に該當する者に對し之を行うものとする

一、正當の理由なくして屢々遅刻、早退又は缺勤したる者

二、怠慢の程度著しき者

三、故意に業務の能率を阻害したる者

四、その他勤労統率上懲戒を適當と認むる者

第六　懲戒は左の四種とする

一、訓戒

二、譴責

三、減給

四、罰金

第七　生産責任者は勤労者の懲戒に關して左の事項を行うものとする

一、出頭訊問その他懲戒の爲に必要なる調査

二、懲戒の決定及その執行

三、懲戒の決定及その執行に關する報告

四、その他懲戒に關し必要なる事項

第八　所轄官廳の長は懲戒の爲に必要と認むるときは生産責任者に對し勤労者の出頭を命じ又は報告を求むることを得

第九　生産責任者は勤労者の懲戒を行うに當りては本人に對し辯明の機會を與うることを要す

第十　懲戒を受けたる者に對しては左の各號の一に該當する場合に限り其の懲戒を取消すことを得

一、懲戒の事由なかりしことを證明したるとき

二、懲戒の事由消滅したるとき

三、懲戒の事由消滅したる後相當の期間勤労成績著しく良好なりと認めらるるとき

第十一　懲戒を受けたる者（官廳勤労者を除く）は命令の定むるところにより勤労統率上懲戒を適當と認むる者に對し懲戒を行うものとする

第十二　本綱要中所謂生産責任者とは左の者を謂う

一、生産會社の生産責任者

二、生産に關する業務を主宰する者

三、生産に關する業務を分掌する者

四、生産に關する業務を監督する者

第十三　本綱要中所謂勤労者とは生産責任者以外の勤労者を謂う

第十四　本綱要は官廳勤労者の懲戒に關しては之を準用せず

第十五　本綱要は勤労者の懲戒に關する他の法令の規定を妨げず

第十六　本綱要は勤労者の懲戒に關する他の法令の規定に依る懲戒の手續を經ずして之を行うことを得ざるものとす

第十七　本綱要は勅令の施行の日より之を施行す

第十八　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第十九　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第二十　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第二十一　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第二十二　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第二十三　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第二十四　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第二十五　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

## 軍需會社法に依る懲戒手續の特例に關する勅令案要綱（情報局發表）

軍需會社法第一條の規定に基く懲戒手續の特例に關する勅令案要綱は左の如し

第一　軍需會社の生産責任者（以下生産責任者と稱す）は命令の定むるところにより左の者を懲戒することを得

一、正當の理由なくして屢々遅刻、早退又は缺勤したる者

二、怠慢の程度著しき者

三、故意に業務の能率を阻害したる者

四、その他勤労統率上懲戒を適當と認むる者

第二　懲戒は左の四種とす

一、訓戒

二、譴責

三、減給

四、罰金

第三　懲戒の事由は生産の本務たると否とを問わず之を行うものとする

第四　懲戒は生産の本務に關係あるものに對しては主として生産の本務に關し、本務以外の事項に關しては主として本務以外の事項に關し之を行うものとする

第五　生産責任者は勤労者の懲戒に關して左の事項を行うものとする

一、出頭訊問その他懲戒の爲に必要なる調査

二、懲戒の決定及その執行

三、懲戒の決定及その執行に關する報告

四、その他懲戒に關し必要なる事項

第六　生産責任者は勤労者の懲戒を行うに當りては本人に對し辯明の機會を與うることを要す

第七　懲戒は左の四種とす

一、訓戒

二、譴責

三、減給

四、罰金

第八　懲戒は勤労者の懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第九　懲戒は勤労者の懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第十　懲戒を受けたる者に對しては本綱要の規定に依る懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第十一　懲戒を受けたる者（官廳勤労者を除く）は命令の定むるところにより勤労統率上懲戒を適當と認むる者に對し懲戒を行うものとする

第十二　本綱要中所謂生産責任者とは左の者を謂う

一、生産會社の生産責任者

二、生産に關する業務を主宰する者

三、生産に關する業務を分掌する者

四、生産に關する業務を監督する者

第十三　本綱要中所謂勤労者とは生産責任者以外の勤労者を謂う

第十四　本綱要は官廳勤労者の懲戒に關しては之を準用せず

第十五　本綱要は勤労者の懲戒に關する他の法令の規定を妨げず

第十六　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第十七　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第十八　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第十九　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第二十　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第二十一　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第二十二　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第二十三　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第二十四　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第二十五　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

## 戰時勤労者の表彰及懲戒に關する勅令案要綱（情報局發表）

戰時勤労者の表彰及懲戒に關する勅令案要綱は左の如し

第一　國民勤労報國協力令に基き勤労者を表彰することを得

一、功績顯著なる者

二、精勤の者

三、模範となるべき行爲ありたる者

四、その他勤労統率上特に表彰を適當と認むる者

第二　表彰は左の四種とす

一、賞狀の授與

二、賞金の授與

三、賞品の授與

四、賞詞

第三　勤労者の表彰は生産の本務たると否とを問わず之を行うものとする

第四　勤労者の表彰は生産の本務に關係あるものに對しては主として生産の本務に關し、本務以外の事項に關しては主として本務以外の事項に關し之を行うものとする

第五　勤労者の懲戒は左の各號に該當する者に對し之を行うものとする

一、正當の理由なくして屢々遅刻、早退又は缺勤したる者

二、怠慢の程度著しき者

三、故意に業務の能率を阻害したる者

四、その他勤労統率上懲戒を適當と認むる者

第六　懲戒は左の四種とす

一、訓戒

二、譴責

三、減給

四、罰金

第七　生産責任者は勤労者の懲戒に關して左の事項を行うものとする

一、出頭訊問その他懲戒の爲に必要なる調査

二、懲戒の決定及その執行

三、懲戒の決定及その執行に關する報告

四、その他懲戒に關し必要なる事項

第八　懲戒は勤労者の懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第九　懲戒は勤労者の懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第十　懲戒を受けたる者に對しては本綱要の規定に依る懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第十一　懲戒を受けたる者（官廳勤労者を除く）は命令の定むるところにより勤労統率上懲戒を適當と認むる者に對し懲戒を行うものとする

第十二　本綱要中所謂生産責任者とは左の者を謂う

一、生産會社の生産責任者

二、生産に關する業務を主宰する者

三、生産に關する業務を分掌する者

四、生産に關する業務を監督する者

第十三　本綱要中所謂勤労者とは生産責任者以外の勤労者を謂う

第十四　本綱要は官廳勤労者の懲戒に關しては之を準用せず

第十五　本綱要は勤労者の懲戒に關する他の法令の規定を妨げず

第十六　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第十七　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第十八　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第十九　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第二十　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第二十一　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第二十二　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第二十三　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第二十四　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

第二十五　本綱要は勅令の施行の際現に懲戒に關する他の法令の規定に依り懲戒の手續を經つつありたる場合に於ては其の懲戒に關し本綱要の規定に依る懲戒の手續を爲すことを得

# 主力を以てする機動
## 伊藤正徳

（五）

もしも機動部隊の主力が敵の機動部隊の攻撃に對して、これを撃滅するの目的を以て、敵の進出して來る方向に向って突進するとすれば、それは敵の思う壺である。

（六）

もしも機動部隊の任務が、敵の機動部隊の撃滅にあらずして、基地航空部隊の支援にあるとすれば、機動部隊の主力は、敵の機動部隊の進出して來る方向に向って突進することは、敵の思う壺である。

（七）

有力機動部隊の任務を大別して考えるのは、これまでの例である。その第一は、敵の機動部隊の撃滅である。その典型を求めようと、古今東西の海戦史を繙くまでもなく、ネルソンの率いる英艦隊がナポレオンの率いる佛艦隊を撃滅した、トラファルガル海戦である。

ネルソンは、ナポレオンの艦隊を撃滅するために、地中海を東へ東へと追いかけて行った。ナポレオンの艦隊は、ネルソンの艦隊を避けるために、地中海を西へ西へと逃げて行った。

ネルソンは、ナポレオンの艦隊を撃滅するために、地中海を東へ東へと追いかけて行ったのである。

（八）

第二次大戰の初期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（九）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（十）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（十一）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（十二）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（十三）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（十四）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（十五）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（十六）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（十七）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（十八）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（十九）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（二十）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（二十一）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（二十二）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（二十三）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（二十四）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（二十五）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（二十六）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（二十七）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（二十八）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（二十九）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（三十）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（三十一）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（三十二）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（三十三）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（三十四）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（三十五）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（三十六）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（三十七）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（三十八）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（三十九）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（四十）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（四十一）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（四十二）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（四十三）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（四十四）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（四十五）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（四十六）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（四十七）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（四十八）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（四十九）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（五十）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（五十一）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（五十二）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（五十三）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（五十四）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（五十五）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（五十六）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（五十七）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（五十八）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（五十九）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（六十）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（六十一）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（六十二）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（六十三）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（六十四）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（六十五）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（六十六）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（六十七）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（六十八）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（六十九）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（七十）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（七十一）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（七十二）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（七十三）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（七十四）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（七十五）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（七十六）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（七十七）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（七十八）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（七十九）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（八十）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（八十一）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（八十二）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（八十三）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（八十四）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（八十五）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（八十六）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（八十七）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（八十八）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（八十九）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（九十）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（九十一）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（九十二）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（九十三）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（九十四）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（九十五）

第二次大戰の末期、ドイツ空軍がイギリス本土の航空基地を撃滅するために、ロンドンを中心とする地域に對して、連日連夜、大規模な空襲を行ったのも、敵の機動部隊の撃滅を目的としたものであった。

（九十六）